

## タンポポいろいろ

こんにちは。今年もお世話になります。いろいろ思うところがあり、しばらく中断しておりました「中根小の自然」ですが、また再開したいと思います。今年新たに”生物クラブ”もできたので、理科の授業だけでなくクラブで観察した生き物なども、紹介していけたらと考えています。

さて、前置きが長くなりました。少し時期遅れになってしまいましたが、始めの何号かは 4,5 月に観察された生き物から紹介していきます。今回はタンポポ特集。



この辺で見られるタンポポの中に、日本に古くから見られるもの(カントウタンポポなど)と、外国から入ってきたもの(セイヨウタンポポなど)があるということを知っている人も多いでしょう。上の写真左がカントウタンポポ、中がセイヨウタンポポ。違いを見つけてみましょう。さらに、右の上下2枚の写真を見てください。違いが分かりますか?どちらも外国産で、上がセイヨウタンポポ、下はアカミタンポポです。カントウタンポポは春にしか咲きませんが、外国産のは冬以外ほぼ一年中花をつけます。そして受粉しなくても種をつくってしまうなど、日本のとはいろいろ違う点があります。こういうことを言うと、外国産は強いと思いますが、そうではなく、日本産が住みにくく外国産が住みやすい環境が広がってきたためと考えられています。そのため、タンポポの分布を調べるとその土地の環境の一面が分かりますといわれます。



次に、最近歩きながら見つけた変わった(奇形の?)タンポポを紹介します。どこが普通に目にするタンポポと違うか?考えてみましょう。[理科支援員 宮内]